

ひびばい 市議会だより

令和7年2月1日

70号

発行 美 唄 市 議 会
編集 市議会広報委員会

議会報告会

令和6年第4回定例会は12月4日に開会し、本会議では、市政報告として、市申立による成年後見等開始が市民の権利を侵害したとした損害賠償請求事件に対し、札幌地方裁判所岩見沢支部が請求を棄却したが、原告側が判決を不服とし控訴したこと、台湾花蓮県富里郷と友好交流協定を締結したこと、また、教育行政報告として、市内の小学校においていじめの重大事態があり、今後、美唄市いじめ問題審議会において調査を行うことが報告されました。

市長から提出された事件の内訳としては、承認案件1件、条例制定案件1件、条例廃止案件1件、条例改正案件2件、単行案件3件、補正予算案件2件、人事案件6件の計16件が上程されました。

12月9日と10日には、11人

第4回定例会(12月4～13日)終わる

☆ 令和6年度一般会計補正予算(第8号)

1億6932万円可決

◆◆ 主な内容 ◆◆

- ◆ 一般質問
- ◆ 各委員会の報告
- ◆ 定例会審査議案
- ◆ お知らせ
- ◆ 市議会の動き
- ◆ 編集後記

の議員が市長並びに教育長に一般質問を行いました。

意見書は「核兵器禁止条約締約国会議」へのオブザーバー参加を求める意見書1件を提出しました。

令和6年第4回臨時会は12月25日に開会し、本会議では、国の「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策」による臨時特別給付金及び、がんばろう！ひびい応援券についての補正予算案2件が上程され、予算審査特別委員会を経て、本会議にて可決されました。

一 般 質 問

今定例会では、11人の議員が一般質問を行いました。
質問・答弁は本人が要約したものを掲載しています。

令和議員会

海 鋒 則 秀 議員



問 令和6年産米の価格は高値で取引されることとなりましたが、肥料、農薬、燃油等すべてのものが値上がりしている中、生産者側からすると、決して高くはないと思う。一戸当たりの面積も増え、さらに農業機械が必要になる。今年度、美唄市農業未来投資補助金に多くの方が申請したと聞いているが、来年度以降の予算措置について。

答 今年度において新たに将来への投資に当たる農業機械をより低コストで導入するため、美唄市農業未来投資補助金により支援している。米価が上がり農業者の所得は増えたものの、現在の価格では、これまでの物価上昇分を取り戻せてはいないとの声を聞いて

ている。こうしたことから、来年度は本市農業の5か年計画である、美唄市農業ビジョンを策定する中で、今後も安心して農業を続けて行ける様な支援メニューを検討していく。

問 ヒグマ対策について、近年ヒグマが住宅地に現れることが珍しくなくなってきた。多くの市民から、今後の本市における体制・整備を問われている中、北海道猟友会が、自治体からの駆除要請には原則応じないよう71支部に通知することを検討しているところがあるが、美唄市はどうなっているのか。

答 美唄市としては、北海道猟友会美唄支部と連携し、良好な関係を築いている。美唄市から要請があれば、これまでどおり対応するとの回答をもらっている。ドローンを使い、より正確な確認と追跡ができるようになっていく。

みずほ議員会

松 山 教 宗 議員



問 地域公共交通についてこれまで質問を続けている。AIデマンドバス「のるーと美唄」の当該運行エリア内と美唄・茶志内間の短期実証実験は12月末までだが、延長し引き続き調査運行すべきでは。

答 実証期間について美唄・茶志内間の利用実績を踏まえ、代替交通の必要性があると認められ、また「のるーと美唄」実証調査を延長継続することにも引き続き市民の皆様が周知活動が続ける。

問 交流拠点施設ゆくりん館は開設し21年が経過。水回りなど故障もある。25周年を見据え市民のみならず関係・交流人口増を目指ししっかりと施設整備計画を立て整備し、隣接施設の利用者に変化があ

るのでニーズに合わせリニューアルも必要で道の駅的な多面的な施設整備強化をしては。

答 来年度施設調査し、5年程度の整備計画を立て、財源は交流拠点施設整備基金を予定。体験交流施設は20年前に752人の利用に対し昨年度は460人と6割程度。パークゴルフ場は19年前3万207人の利用に対し昨年度は7901人で当時の3割程度に。これら施設の在り方について利用者や関係団体等の意見を伺い協議をしていく予定。RVパークは月平均30台の利用があり休日予約が取れない状況。本年度3区画増設し8区画とし時代のニーズにあつた利活用に努めてきた。8月26日には道道美唄富良野線が開通し多くの車両が通行し、ゆくりん館にも多くの観光客が利用され道の駅的な機能も必要であると考えており、25周年のリニューアルに向けてより多くの観光客、関係・交流人口が集まる機能、ニーズに合った観光・交流の魅力的な施設となるよう検討していく。

市民交流クラブ

山上 他美夫 議員



問 『マイナ保険証』の実施により現行の健康保険証の新規発行が12月で停止されたので、マイナ保険証の登録を促進するための情報発信が重要であるが、マイナ保険証を未登録の市民に対する今後のサポートについて伺う。

答 マイナナンバーカードの保険証登録は任意であり、高齢者の方の中には暗証番号の管理やカード紛失の不安から、登録しない方もいるので、市の広報紙やホームページ、市内の医療機関への協力やマイナ保険証の利便性を発信・周知しマイナ保険証の普及に努める。

問 町内会は、市の広報紙『メロディー』の無償配布をはじめ、災害時の情報収集、

情報伝達や高齢者の見守りなど市政にとっては重要な存在であり、近隣市町村でも、町内会運営に対して行政が支援をしているが、「美唄市地域つながりサポート事業補助金」を広報紙メロディーの配布手数料として町内会に還元するか、町内会助成金としての支給を望むが、お考えを伺う。

答 町内会活動の支援助成金ですが、広報紙メロディーの配布方法は他の手段も含め検討していますが、現状は町内会に協力をお願いしている。本市における各町内会等への金銭的な支援は『美唄市地域つながりサポート事業補助金』があり、今後積極的な活用が提案や助言を行い、幅広く活用されるよう努め、町内会等の運営費の負担軽減として活用いただけるよう、今後も継続して広報紙メロディーや市のホームページで制度の周知を図っていく。

無会派

本郷 幸治 議員



この度の定例会では、
1、環境行政について
①宮島沼の水質について
2、医療行政について

①带状疱疹ワクチンの任意予防接種費用に対する助成制度の取組について
3、GIGAスクール構想の下で整備された端末の更新についての大綱3点について質問しました。

宮島沼は2002年のラムサール条約湿地登録された国際的に重要な湿地であり貴重な自然遺産です。宮島沼の現在の最大の課題である、水質の悪化について報告します。

問 令和6年度に実施した水質検査では、水稻の生育期に当たる7月は三日月集水路下流の水質は、化学的酸素要求

量であるCOD45mg/L、全窒素3・6mg/Lとなっており水稻の農業用水基準であるCOD6mg/L以下、全窒素1mg/L以下でいずれも農業用水の基準値を上回っており水質の悪化が進んでいます。今後において水質の改善に向けての取組について伺う。

答 灌漑期間中は三日月集水路の水位が上昇すれば宮島沼からの流入が止まり、また集水路に流入した場合も速やかに希釈されて流れるものと考えております。

今後の取組については水質検査の結果に基づき、「宮島沼のアオコを含む湖水の三日月集水路への流出対策会議」を開催し、意見交換を行った上で、灌漑期は宮島沼から流出しないように、矢板を設置するなどの対策案を検討する予定であります。

令和議員会

川上 美樹 議員



問 発達障がいの子どもは全国で13万人と年々増えている。社会性が高まり、発達障がい認知されやすくなるのは5歳であり、その子にあった支援をしていけば普通学級で過ごせる場合も多い。本市では3歳児健診の後は小学校入学直前の健診となる。5歳児健診を実施してはどうか。国からの実施支援もある。

答 本市の場合、各種健康診査の結果、お子さんの発育・発達について相談支援が必要とされる割合は、令和5年度では50%〜70%である。保護者を含めたフォローアップ体制の整備に努める。

問 外国人の就労が市内でも多くなってきた。外国人の方々が困り事なく、本市で住んで

市 議 会 だ よ り

頂く為には、相談事などに対応する市の体制も必要ではないか。

答 美唄商工会議所と連携し、外国人労働者雇用に関する実態や採用する上での課題、行政や関係機関へのニーズを踏まえながら、外国人労働者の雇用と定着に必要な支援に努めていく。

問 選挙権が18歳からになっているが、主権者教育（政治や社会の問題に関心を持ち、自ら考え判断し、行動する主体的な態度を養う教育）を行い、道や国で活躍する人材が本市から出て欲しいと思うが教育長の考えは。

答 昨年は「子ども議会」を開催。良識ある公正な判断力を身につけることで、社会への参加意識が高まるよう努める。

市民交流クラブ

齋藤 久美夫 議員



問 旧南美唄小・中学校グラウンド跡地に係わる調停事業の発端とその原因の分析について。

答 南美唄小・中学校の閉校に伴い、令和3年3月31日をもって契約の相手方にグラウンド用地を返還したが、当該用地を緊急避難場所として用いることを失念し、緊急避難場所としては未契約状態になったため、相手方と交渉を継続し、令和4年4月1日に契約期間を1年間とする契約を取り交わした。

その後、同年の8月と10月に相手方から契約を更新しない旨の通知があり、顧問弁護士と避難場所確保のため土地の返還及び契約期間延長について協議を行ってきた。同年

12月に契約を更新しないことを双方が確認した。雪解け後の令和5年4月にグラウンド内の工作物の撤去等を行い返還する旨を相手方に通知をしたが、その後の原状回復の範囲確定に時間を要し、土地契約期間を超えた同年9月に返還を完了した結果、土地賃貸借契約に基づく遅延損害金を支払うこととなった。

問 市の対応不備によりこのような事態が発生したことに対し、重く受け止めるとのことだが、原因の分析と責任の所在については、調査・追求を続けるなど、今後に向けてしっかり対応してほしい。

答 こうした事態が発生したことは、重く受け止めなければならぬと考えている。また、司法の場において市の対応不備と判断されたことについても、真摯に受け止めなければならぬものである。

今後は、市の組織全体の問題として捉え、職員倫理の向上に取り組むため様々な点から具体的な改善策を講じるなど、再発防止に全力を挙げて取り組んでいく。

無会派

永森 峰生 議員



問 公共施設のLED化への整備について。水銀添加製品である一般照明用の蛍光灯が令和7年末から令和9年末までに製造及び輸出入が廃止されることから、本市の公共施設全体の整備率、街路灯の整備率、今後の整備計画、町内会所有の街路灯への対応について伺う。

答 施設全体で、施設数で約24%、床面積で約55%、街路灯で54・2%であり、今後、「美唄市公共施設等個別施設計画」により、毎年度の予算編成の中で検討。町内会の街路灯は市補助金活用により整備率90・3%。今後も周知に努める。

問 生活困窮者自立支援事業の拡充と子ども食堂について。

子どもたちの「居場所」づくりの施策として、生活困窮者自立支援制度を活用し「子どもの学習・生活支援事業」に取り組み、賛同する市民の気運の状況により「子ども食堂」へ展開していくものと考えている。

答 事業を進めるに当たって、人材や場所の確保などの課題解決に向け検討し「居場所」づくりに取り組みたい。

問 教員の働く環境の改善に向けた取組の状況について。「教員業務支援員」の配置について、道教委の事業対象とならない学校について市単独事業として配置すべきである。

答 道教委対象外の学校の「教員業務支援員」の配置に向けて、市長部局と協議する。

問 不登校児童・生徒の対応について。不登校の問題は、早期対応が重要であることから、「校内教育支援センター」を来年度から設置すべきである。

答 不登校・不登校傾向児童生徒の学びの場が広がることから、設置に向けて、市長部局と協議する。

令和議員会

楠 徹也 議員



問 交通行政 AIデマンド

バス「のるーと美唄」について、本年10月1日より、約2か月間、実証運行しているが現在ほどの様な状況なのか。

① 会員登録数と予約の状況

② 2台のバスの走行距離

③ 乗車人員数と料金

④ 物損事故が、どの様な事故で、どの様な対応をしたのか

⑤ 2か月間の実証運行の収支

答 11月末で会員登録者数は495人で予約の状況については、約半数が前日以前に予約になっており、バスの走行距離数は1号車が3705kmで2号車が6054kmで、乗車人員については、大人が1128人、障がい者が376人、小児が8人、無料の介助者が1人で運賃収入が42万

5150円となっている。物損事故は、個人宅のブロック塀に接触し破損させたが示談が成立している。2か月間の収支については、運賃収入が42万5150円、国からの補助金1675万円の予定で支出は、車両購入費と委託料で3413万円となっている。

問 国際交流について、学校におけるグローバル教育について

答 令和4年8月からは、外国語指導助手を3人体制に増員し、小学校への派遣の充実に努めている。また中学校においても、各学校に外国語指導助手を1人配置し、授業の質を高めるとともに、授業以外でも英語のコミュニケーションを図ることができるように取り組んでいる。今後においても、授業や授業以外の場面でもグローバル教育の充実を考えている。

《その他の質問事項》

○ 外国人観光客数の推移

○ 市内在住の外国人数、市内で雇用されている外国人数

市民交流クラブ

江川 いづみ 議員



問 地域包括ケアシステムにおける市立美唄病院の役割等

及び持続可能な医療提供体制整備について、また、市民に信頼され、選ばれる病院になることの重要性について伺う。

答 治し支える医療として、

回復期患者を受け入れ、地域包括支援センター等と連携し、スムーズに在宅復帰や施設入所につながるほか、患者が安心して在宅生活できるよう訪問診療・看護を行い、在宅見取りにも対応している。また、大阪医科大学救急医学教室の医師派遣を平日も行い、総合診療科医師の採用で診療体制を強化するとともに、市民との信頼関係構築のためにホームページの改修やタイムリーな情報提供、多目的室を

活用した講演会や多職種会議などに取り組む。

問 日本遺産「炭鉄港」認定の価値、地域振興及び観光資源としての取組について、また、市民との協働、他市町との連携等の重要性について伺うとともに、日本遺産「炭鉄港」に係るふるさと教育について伺う。

答 日本遺産認定は、地域の認知度が高まり、ブランド化やシビックプライドの醸成にもつながり地域創生に資するもの。(二)社ステイびびが中心となり、構成文化財を利用した観光事業等に取り組んでおり、7月から炭鉄港推進協議会の会長市として「炭鉄港めし」を含む幅広い分野での活動をしている。今後、構成市との連携はもとより、本市独自の取組も積極的に行う。「炭鉄港」に係るふるさと教育については、小学校4年生で、本市独自の副読本を活用し学びを深めているほか、中学校では、総合学習で取り組んでいる。本市に異動してきた教職員対象に「ふるさと美唄研修会」も行っている。

無会派

吉岡 建二郎 議員



問 福祉灯油について、他市町村の状況を見ると本市の50リットル相当よりも多く給付しているところがある。また、灯油だけではなくガス・電気等にも給付が行われている。拡充の考えを伺う。

答 道内35市では5000円から2万円と、金額はそれぞれで灯油が高騰した年に限って支給しているのが20市となっている。本市では50リットル相当としており、令和2年度と比較して2150円増額している。ガス・電気等については平成29年度の調査でガス・電気等を熱源として使用する家庭はあまり見かけないとの声が多かった。今後は時代と共に使用する熱源の変化の実情と、他市の支給状況を参考

市議会だより

にして、適宜必要な見直しを図っていく。

問 太陽光発電設備について、再生可能エネルギーの活用という観点から推進されるべきものではあるが、全国各地でトラブルの話を聞く。本市でのトラブルの発生について。また、トラブルを未然に防ぐために各地で条例化が進んでいるが条例化の考えについて伺う。

答 本市におけるトラブルの相談は現状無い。近隣では月形町で令和5年3月に条例が制定されている。地球温暖化対策を進めていく上で、太陽光発電等の再生可能エネルギーの普及は重要であると考えられるため、市独自の規制を急ぐのではなく、国や道の関連機関と連携し、適切に対応していく。また、維持管理や廃棄には様々な課題があることから、すでに条例を制定している自治体の事例を参考にしながら、市内の状況を注視していく。

無会派

伊原 潤司 議員



問 市長の市政執行実績と今後の課題

市民との直接の接点・オープンデイスカッションの市民参加実績と進行方法について9か所で10回の開催で106人の参加者。主要なテーマがスキー場の大規模改修等2、3に絞られ資料も準備されていたが議論に拡がり欠ける面があり、オープンデイスカッションとは言い難く広聴の意味では工夫が必要ではないか。美唄市は公共施設等の老朽化が進んでおり、上下水道料金やごみ処理料の改定等も待った無しの状況であり、施設の在り方や、財政の計画や展望について市民に分かり易く説明する取組が必要と考えるが市長は『いつどの様な方法で

これを進めようとしているのか。

答 オープンデイスカッション後のアンケートでは70%程が満足との回答であったが開催日程や開始時間、テーマを含め引き続き検討する。市政に係る大きな課題については『美唄市まちづくり基本条例』に則り、市民負担に直接関わるものや施設の新改築等の大型事業を進めるに当たっては事業の必要性や効果、将来負担等の財政的な側面も含め、より丁寧に説明する事が重要であると認識しております。

委員会の報告

第4回定例会

《総務・文教委員会》

51号 訴えの変更について

問 今回変更となった令和4年度のリース料相当損害金については、決算時にはどちらの金額で計上していたのか。また、令和4年度決算に問題はないのか

答 誤りがあり訂正した、令和4年度の金額については、決算時には訂正後の金額で決算報告を行っていたが、今回の訴状を出すに当たって金額を積算した際に誤りがあったもので、決算に影響はない。

52号 調停の成立について

問 今回借りていた土地は、指定緊急避難場所という使用目的であったが、現状、市内の指定緊急避難場所若しくは避難場所などに指定されているところで、民間の所有となっている土地はあるのか

答 民間が所有している土地を避難場所、広域避難場所等に指定しているのは、現在は元峰延中学校のグラウンド1件であり、所有者である有限会社北修と協議の上、指定避難場所として利用することについて同意を得ている。

53号 定住自立圏の形成に係る議会の議決事件を定める条例制定の件

質疑なし

54号 美唄市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正の件

問 条例改正によって、マイナンバーカードを持っていない方や、被保険者証と一体化をしていない方が、事務手続上の不利益や、これまでなかった手続きが必要になることはないのか

答 今回の条例改正については、マイナンバーカードから各種保険情報の連携が可能となるというものであり、有効

市 議 会 だ よ り

期限が残っている保険証や資格確認書での手続きも、これまでどおり可能であるため、特に不利益はない。

51～54号 原案可決

《産業・厚生委員会》

55号 美唄市手数料徴収条例の一部改正の件

問 建築主事について、現在、都市整備部長、都市建築係長が担ってきたとのことであるが、今後、安定した配置をすることが困難となる理由について

答 建築主事の業務については、行政の基本でありながら、建築確認等に関する許可をおろす権限は美唄市長名ではなく、建築主事の個人名と、建築基準法で定められている。そうした中、北海道から「建築主事の事務については、責任が重いため、基本的に管理職以上でなくてはならない」との通達があり、今後、管理職の建築主事を配置できないことが大きな理由である。

56号 美唄市建築確認申請等

手数料徴収条例の廃止の件
質疑なし

57号 指定管理者の指定の件
(美唄国設スキー場)

問 以前の指定管理期間は5年であり、その後1年となった趣旨も理解しているが、現状の1年更新はどれぐらいまでと考えているのか、その見通しについて

答 指定管理期間について、スキー場の再整備により、業務内容に変更が生じるため、昨年から1年間としている。現在、整備計画の中では、令和8年から工事を開始し、正式なりリニューアルオープンは、令和9年を予定しているため、それまでは、現状の1年更新と考えている。

55～57号 原案可決

陳情2号 美唄国設スキー場の再編整備に関する陳情

本件は、先の第3回定例会において付託され、継続審査となっているもの。

審査における、委員からの意見としては、美唄国設スキー

場再編整備について、事業の必要性や計画の時期や事業費様々な角度を検討し、市民目線でも慎重に進めた方がいいと思うため願意妥当とするべきだ、との意見があった。

陳情第2号については、採択して市長に送付すべきものとし、意見としては、「願意妥当と認められるので、美唄国設スキー場の再編整備について、事業の必要性、計画の時期や事業費について、様々な角度から検討し、市民目線で慎重に進められるよう、善処されたい。」と決定した。

陳情2号 採択

《予算審査特別委員会》

委員長 松山 教宗
副委員長 森 明人

58号 令和6年度美唄市一般会計補正予算(第8号)、

問 「美唄スマート農業推進事業」について、高額な自己負担もある中で、当初90件としていた申請予定者数が178人と約2倍となった主な理

由について、どのように分析しているのか

答 7月18日の受付開始から、米の収穫前までで当初の予定者数に近い申請が来ていたが、その後、米価が上がったことに伴い、様子を見ていた方も事業に乗ることとしたため、2倍近い申請数となったと考えている。

59号 令和6年度美唄市下水道事業会計補正予算(第1号)

問 「企業債台帳システムの更新」について、これまではどのように対応してきたのか。また、なぜ年度途中で急に必要となったのか

答 令和5年度から企業会計となったため、費用削減できることもあり、水道事業で使用するしていたシステムに下水道事業を追加することとした。

しかし、公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業及び個別排水処理施設事業の3つの事業に分ける機能がなかったため、令和5年度決算時には振り分け作業を手計算で実施したが、今回の補正でシステム改修することにより令和

6年度決算に間に合うため、この時期に改修することとなった。

58・59号 原案可決

第4回臨時議会

《予算審査特別委員会》

委員長 齋藤 久美夫
副委員長 森 明人

64号 令和6年度一般会計補正予算(第9号)

問 「住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金支給事業」について、いつから支給となるのか。また、これまで同様にプッシュ型で支給する場合は早期に支給できずと思うが、翌年度に繰り越すほど時間がかかる理由について

答 令和7年1月末に案内を送り、これまでの給付で口座情報があり、変更のない世帯等については2月20日の支給を予定している。

また、未申告世帯、口座情報の変更となる世帯及び口座情報を把握していない世帯に

市 議 会 だ よ り

については、4月30日を締切として、随時受け付けして給付を行うため、4月1日以降の支給分について繰越明許費の設定を行っている。

問 「がんばろう！びばい応援券発行事業」について、商品券の使用期間はいつまでとなるのか

答 現在、商品券の販売日を令和7年2月23日と予定しており、使用期間は販売日から8月22日までの6か月間と予定している。

64号 原案可決

第4回定例会での審査議案

（簡単な内容説明です。委員会報告にある件は、委員会名を記載してあります。）

報告25～29号 例月出納検査結果報告

報告30号 定期監査報告

報告31号 美唄市教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告

陳情2号 産業・厚生委員会承認10号 専決処分の承認を

求める件（令和6年度美唄市一般会計補正予算（第7号））

議案51～54号 総務・文教委員会

議案55～57号 産業・厚生委員会

議案58・59号 予算審査特別委員会

委員会

決議案第1号 美唄市国設スキー場の整備等調査特別委員会の設置に関する決議

議案60号 美唄市監査委員選任の件

議案61号 美唄市教育委員会委員任命の件

議案62・63号 美唄市固定資産評価審査委員会委員選任の件

諮問1・2号 人権擁護委員候補者推薦の件

意見書第14号 「核兵器禁止条約締結国会議」へのオブザーバー参加を求める意見書

第4回臨時議会での審査議案

（簡単な内容説明です。委員会報告にある件は、委員会名を記載してあります。）

64号 予算審査特別委員会

市議会の動き

11月

5日 議会報告会

13日 議会改革推進委員会

29日 議会運営委員会

12月

4日 第4回定例会開会

9日 美唄国設スキー場の整備等調査特別委員会

10日 議会運営委員会

11日 一般質問

総務・文教委員会

産業・厚生委員会

議会改革推進委員会

12日

予算審査特別委員会

北海道せき損センター

13日 第4回定例会閉会

23日 美唄国設スキー場の整備等調査特別委員会

25日 議会運営委員会

1月

9日 広報委員会

第4回臨時会

予算審査特別委員会

お知らせ

本会議、委員会は、どなたでも傍聴できます。令和7年第1回定例会は、3月上旬の予定です。日程など詳しくは議会事務局(電話63-0141)にお問い合わせ下さい。



美唄市議会トップページ



美唄市議会中継

編集後記

昨年12月25日に臨時議会が行われ、「住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業」と、「がんばろう！びばい応援券発行事業」が可決されました。応援券の販売は、2月末以降が予定されています。

新年に入り、毎日のように降る雪に悩まされていますが、市の排雪も休みなく稼働しており、少しずつ解消されていくと思われます。市民の皆様にとつて本年も良い年になることを願います。（海銚）

広報委員会

委員長 松山 教宗

副委員長 吉岡 建二郎

委員 江川 いつみ

委員 海銚 則秀

【訂正】

市議会だより69号の11ページ表2において誤りがあったため、お詫びいたします。歳出、総務費、基金造成費は正しくは2億7000万円でした。